

=====
子どもファーム・ネット通信 No.14

2009年8月28日発行

子どもファーム・ネット 公式ホームページ
(<http://www.kodomofarm.net/>)

=====

全国各地の小・中学校やJAでの食農教育活動を取り上げたニュースを紹介します(日本農業新聞の記事から)。

【インデックス】

- (1) 中学生が農業に挑戦 職場体験受け入れ
/ JA YOUTH 広島市佐東支部
(2009/08/15 中国四国版)
- (2) 環境保全農業 理解を 児童らと生き物調査
/ 島根・JAいわみ中央のTAC
(2009/08/13 中国四国版)

=====

- (1) 中学生が農業に挑戦 職場体験受け入れ
/ JA YOUTH 広島市佐東支部
(2009/08/15 中国四国版)

=====

広島市安佐南区のJA YOUTH広島市佐東支部は上旬、同市立城南中学校2年生の農業体験を受け入れた。同校の職場体験学習には毎年協力しており、今年は9戸の農家が50人の生徒を2日ずつ受け入れた。

職場体験は、生徒に社会生活への理解を深め、将来的な進路の参考にしてもらうのが狙い。農業体験は実際の作業に合わせた時間帯で受け入れ、生徒らは早朝6時から農家と一緒に収穫・調製作業を体験した。

吉井武司さん(55)は6、7の2日間、生徒3人を受け入れた。初日はハウスでのハウレンソウの定植などを行い、2日目はエダマメの収穫・調製作業を体験してもらった。吉井さんは「自らの将来のための経験として、また地元川内の農業を知ってもらうためにも良いことだ」と思いを話した。

JA YOUTH広島市佐東支部は、同市立川内小学校が取り組む広島菜の栽培から加工までの作業に協力するなど、地元の学校と連携を強め、食農教育に貢献する。

=====

- (2) 食農教育、地産地消推進へ 指導員派遣で協定
/ 岐阜県と農業団体
(2009/08/18 東海版)

=====

岐阜県と県内の4農業者団体は17日、県庁で農村女性グループや学校などに農業技術ボランティアを派遣する「ぎふ農業技術インストラクター派遣制度」の協力協定を締結した。県を窓口と同制度を

広く浸透させ、食農教育や地産地消の推進を図る。

協定を締結したのは、県、県指導農業士連絡協議会、県青年農業士連絡協議会、県女性農業経営アドバイザーいきいきネットワーク、県普及職員OB会。地産地消を広める農村女性グループの活動や、農業体験を行う幼稚園や保育園、小中学校での食農教育に、指導者を派遣し支援する。

これまでは、各団体が地域内で個別に活動していたが、今回の制度発足によって派遣申請を受ける窓口を県に一元化し、広く活用を呼び掛ける。馬場秀一郎県農政部長と各団体代表者が協定書に署名した。

山田澄男県指導農業士連絡協議会会長が「これを機にさらに活動を活発化させていきたい」と意気込みを述べると、馬場県農政部長も「県とみなさんとの連携を密にし、制度を広くアピールしていきたい」と語った。

グループ登録について

グループ登録は毎年更新の手続きが必要になります。グループ登録を希望される方は、下記の登録フォームに必要事項を入力して送信して下さい。

<http://www.kodomofarm.net/entry/index.html>

=====

本メールは、これまで「子どもファーム・ネット」にグループ登録を頂いている代表者の方に配信しております。

また、配信をご希望されない方は、お手数ですが下記のE-Mailアドレスにご連絡下さい。

jimukyoku@kodomofarm.net

お問い合わせ

本メールに関するお問い合わせは、kodomo@kodomofarm.netまでご連絡下さい。

=====

発行 全国子どもファーム・ネット推進協議会
〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1

Copyright(C) 全国子どもファーム・ネット推進協議会 2009

---掲載記事の無断転載を禁じます---

=====